

平成 23 年 10 月 26 日

東北大学の学生のみなさんへ

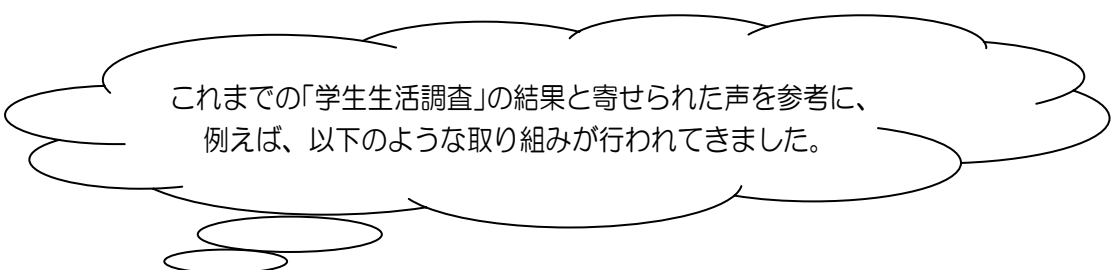
東北大学 総長補佐・高等教育開発推進センター長
第 9 回学生生活調査委員会 委員長
木 島 明 博

「平成 23 年度 東北大学 学生生活調査」へのご協力をお願い

この調査は、みなさんの勉学・日常生活上の意識および生活の実情を把握することにより、東北大学が抱える諸問題を整理し、解決に向けての参考資料として活用するため定期的に行っている調査で、本年度が第 9 回目です。

これまでの 8 回におよぶこの調査でも学生の皆さんからさまざまな意見・要望が寄せられています。東北大学ではそうしたみなさんの声を踏まえて、下記の通りさまざまな対応・改善をはかってきました。みなさんの東北大学における学生生活をさらに充実したものにしていくため、今回も本調査に寄せられた学生のみなさんからの声を参考にしていこうとしています。

回答数が少ないとみなさんの学生生活の実像が把握されにくくなりますので、是非ともみなさんのご協力をお願いします。



これまでの「学生生活調査」の結果と寄せられた声を参考に、
例えば、以下のような取り組みが行われてきました。

- ★ 青葉山、川内北、片平キャンパスの厚生施設（食堂）の改修を行いました。
- ★ 学生相談所と各学部・研究科が協力して、教職員対象のハラスメント防止研修、学生向け講演会などを実施し、予防のための活動を強化しています。
- ★ キャリア支援センターでは、授業終了後の時間帯も（18:30 まで）学生が利用可能としました。
- ★ 「学生協だより」などを通じて、交通事故やカルト勧誘に対する学生への注意喚起に活用しています。
- ★ 大学として、カルト対策を検討する際の基礎資料として活用しています。
- ★ 仙台市交通局と協力し、レイニーバスの運行や「学都仙台 市バス（+地下鉄）フリーバス」の基礎データとして活用されています。
- ★ 無料でキャンパス間を移動できるキャンパスバスの試行を開始しました。